

令和6年度 第1回 知立市地域ケア推進会議



令和6年5月24日(金)
知立市長寿介護課

地域ケア会議の位置づけ



地域ケア会議の位置づけ

【介護保険法第115条の48(会議)】

実施主体	市、地域包括支援センター
目的	<ul style="list-style-type: none">① 支援が必要な被保険者への適切な支援の充実を図る② 地域において自立した日常生活を営むために必要な支援体制の検討
検討事項	<ul style="list-style-type: none">① 高齢者等の健康上及び生活上の解決に資する支援の内容に関する事② 地域における介護の提供に携わる人や関係者の連携強化に関する事③ 支援対象高齢者等に共通する課題の把握に関する事④ 地域における介護の提供に必要な社会資源の改善および開発に関する事⑤ 地域における自立した日常生活の支援のために必要な施策および事業に関する事
構成	介護支援専門員、保健医療及び福祉に関する専門家、民生委員その他の関係者、関係機関及び関係団体等

知立市の人口および高齢化率等の状況



知立市の人口および高齢化率等の状況

【人口と高齢者数の経年推移】

	人口(増加率)	65歳以上	75歳以上	85歳以上	高齢化率
令和元年	72,460	14,270	7,041	1,926	19.7
令和2年	72,392	14,431	7,250	2,016	19.9
令和3年	72,277	14,541	7,271	2,139	20.1
令和4年	72,011	14,637	7,444	2,226	20.3
令和5年	72,062	14,709	7,781	2,343	20.4
令和6年	72,302	14,813	8,164	2,429	20.5
令和元年からの増加率(%)	99.8	103.9	116.0	126.1	+0.8

令和4年度～令和5年度会議の助言から その後の取組状況報告



令和4年度会議のまとめ(1)

「多職種連携会議・地域ケア個別会議から把握した課題」

課題	現状	めざす姿
通いの場	外出したいと思える通いの場がない。 近所同士で支援しあえる人がわからない。 ケアマネジャーが通いの場を知らない。 若い層や男性を取り込めるような場所があるとよい。 結果を数値化すると人が集まるのではないか。	高齢者が活動的に暮らすことができる
ケアマネジメント	地域資源やサービス等の情報不足。 意欲の引き出し方、目標の設定方法が難しい。 自宅での効果的な運動方法がわからない。 対象者数が多く、ケアマネジャーが忙しい。	対象者が、意欲的に生活できるような支援プランを作ることができる。
孤立、認知症	介護サービス導入が困難な身寄りのない認知力が低下した高齢者夫婦がいる。 地域で実態が把握できない認知症高齢者がいる。 未把握の高齢者を減らしたい。	認知症のある高齢者が地域の人に見守られ、生活ができる。支援が必要な人、見守りが必要な人が困った時に助けを求められることができるような地域での支援体制がある。

令和4年度会議のまとめ(2)

課 題	助言・提言
通いの場	若い層や男性を取り込めるような場所があるとよい。 結果を数値化すると人が集まるのではないか。 認知症カフェを地域に増やす。 オレンジメイトの地域におけるサポーター活動の提案。
ケアマネジ メント	ケアマネジャーが参加する会議等で地域資源に関する情報提供を行う。 ご本人が関心のあることを知ることができるよう、意欲・関心シートを周知・活用する。
孤立、認知 症	認知症カフェ・オレンジメイト等の認知症サポート体制を充実し、地域資源として活用する。 元気なうちから対策をしていくとよい。早め早めの対応が大切。 遠方の家族に向けた包括案内のチラシを配布しているところもある。身内の人とやり取りをする。

令和5年度会議のまとめ(1)

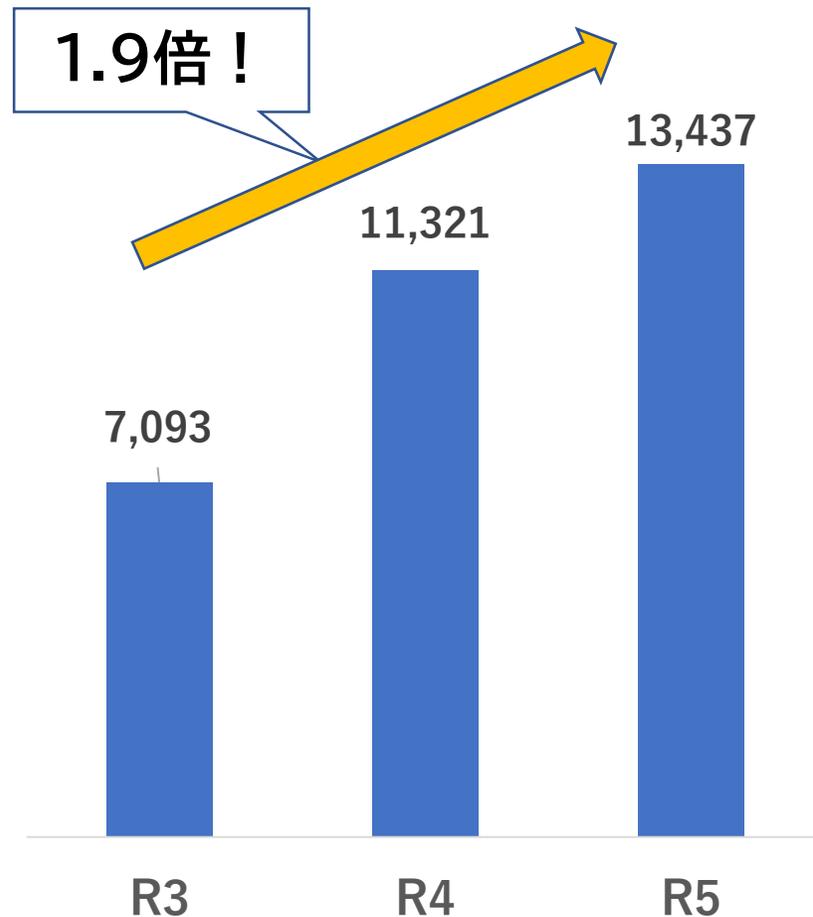
課題	助言・提言	取り組みの方向性 (案)
整形外科疾患	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢期の特徴がデータに出ている。転倒、骨折対策を検討する必要があるのではないか。 	課題解決に向けた検討
圏域	<ul style="list-style-type: none"> ・東部は団地があり、高齢化率が高い。独居、高齢者世帯が多い。見守りと早めの関わりが課題ではないか。 ・北部はアクセスが良くない。通いの場が遠い。移動、買い物支援の必要はないか。 ・西部は通える場が近くにあるか。企業を活用してもよいかもしれない。 	圏域: 2層協議体にて検討する。 市域: 課題に応じて対策を検討
通いの場	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員がまちかど運動教室に誘ってくれている地区がある。 ・総合事業卒業後、悪化していることがある。 ・スマホやインターネットをされる方など多様になってきている。自分で出かけるのが大変でも自宅でできる方はインターネットが活用できるとよい。 	フォローする仕組みを検討する。
つながり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域では民生委員や老人クラブなどの仕組みがある。仕組みの活用を意識する。どこかに相談すれば専門機関へつながる仕組みになるとよい。 ・民生委員が地域の高齢者の見守りを担っているが担い手不足がある。 ・高齢者に限らず、助け合える地域になるとよい。誰もが担い手。 	

令和5年度会議のまとめ(2)

課題	助言・提言	取り組みの方向性 (案)
栄養	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養士や多職種と連携し、改善しているケースが出てきている。 	連携の継続
将来設計	<ul style="list-style-type: none"> ・企業を巻き込んで定年前の人に、後見、介護保険のことなど啓発する。 ・認知症と車の関連で、販売店と結び付けてはどうか。 ・自分の未来を想像(創造)する場を提供したい(シルバーカレッジ) 	企業との連携 市民向け啓発
重層的支援	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者、高齢者とわけることなく、重層的に関わればいい。 ・地域共生社会、おたがいさま、支援される側のみでなく支える側にもなる。 ・高齢者の支援を障がい者が担ってもよいのではないか(買物、草取り等) 	
支援者不足	<ul style="list-style-type: none"> ・能力が低下する前に啓発する。早期発見して関わっていけるとよい。 	啓発
早期発見、 早期介入	<p>地域とのつながりが薄く、状態が悪化してからの対応になっている。 ふだんにつながり(近所の人のお話)などからでも相談窓口につながるとよい。</p>	<p>地域での見守り支援の充実 早期からの対応について検討 見守り体制の再構築</p>
	<p>年齢に関係なく親族等との関係が希薄であったり、親族がいなかったりするケースがあるが、若い世代の情報がない。</p>	<p>若い世代への周知啓発の検討 見守り体制の再構築</p>

会議後の取り組み①通いの場の拡充 通いの場(まちかど運動教室)の拡充・測定会の開催

まちかど運動教室 実績(延べ参加者数) まちかど運動教室 開催箇所数 増加



R3 **14**か所 → R5 **19**か所

まちかど運動教室 測定会開始
(R6より)



会議後の取り組み①通いの場の拡充 オンラインまちかど運動教室の開催

オンラインまちかど
チラシ

LINE画面

タップしてメニューを表示!

オンラインまちかど運動教室実績
(R4より開始)

令和5年度 オンラインまちかど運動教室

延べ参加者数 **504**名

体操動画 再生回数

令和4年度より 延べ **16万**回 再生

会議後の取り組み②認知症に関する地域の支援体制の拡充 ひまわりカフェ(認知症カフェ)の拡充

ひまわりカフェ 開催箇所数 増加

R4 **1**か所 → R5 **3**か所

ひまわりカフェ 延べ参加者数 増加

R4 **81**名 → R5 **314**名

(R3はコロナ禍のため中止)



知立市委託事業

ひまわりカフェながしの

令和6年度開催日 時間は 10:00~11:30
場所 ながしのの里(知立市長篠町新田東11-10)

- 6月25日(火) みんなで歌おうカラオケ大会
最新のカラオケ機械があります。
- 10月29日(火) 昔話であの時代を振り返ろう
希望者にはハンドマッサージが出来ます

令和7年
2月25日(火) グループホームってどんな場所?
当施設管理者が解説します。

参加自由
予約不要です。
気軽にお立ち寄り
ください。

参加費無料

個別相談受け付けて
います。
気軽にお声掛け下
さい。

問い合わせ先
医療法人光慈会
グループホームながしのの里
電話:0566-84-5010
FAX:0566-84-5015
担当:桂川

知立市委託事業

ひまわりカフェなごみ

「ひまわり(認知症)カフェ」とは、認知症の方やそのご家族、地域住民、専門職等が誰でも参加でき、お互いに情報を共有できる場所です。

4月12日	認知症介護指導者によるミニ講座① (認知症の基礎知識・知立市もの忘れガイドブック)
5月10日	身体を動かすゲーム・体操
6月14日	小物づくり
7月12日	認知症介護指導者によるミニ講座② (少しでも認知症を予防するためには...)
8月9日	身体を動かすゲーム・体操
9月13日	懐メロ歌唱会
10月11日	認知症介護指導者によるミニ講座③ (特養、老健、有料、グループホーム、サ高住...施設の違いは?)
11月8日	身体を動かすゲーム・体操
12月13日	干支の小物作り
1月10日	認知症介護指導者によるミニ講座④ (介護者家族の心のケアについて)
2月14日	身体を動かすゲーム・体操
3月14日	お抹茶会

時間: 毎月第2金曜日 13:30 ~ 15:00
場所: NPO法人 和 (谷田町南屋下88番地2)
参加費: 無料 (飲み物代:100円)
毎回: 笑いヨガ(講師:倉地節子さん)、個別相談

予約不要!
どなたでも参加できます!
(予定を変更することもあります)

お問い合わせ
NPO法人 和(なごみ) ☎ 83-6720 担当:大塚・鈴木

ひまわりカフェ
チラシ

会議後の取り組み②認知症に関する地域の支援体制の拡充 オレンジメイト活動支援の拡充

オレンジメイトは認知症に関するサポーター養成講座・ステップアップ講座を受けたボランティアです。

物忘れが心配な人・認知症ご本人の高齢者などへ地域活動への参加をサポートします。

活動内容

- ・地域の高齢者サロン等の運営・活動のお手伝い
- ・高齢者サロンへのお誘い・付き添い
- ・買い物、ゴミ捨て等日常生活の支援
- ・ご本人のお話し相手
- ・座談会の開催
- ・地域での見守り
- ・介護事業所での傾聴ボランティア 等

オレンジメイト活動 延べ回数

R5 **237**回



NPO法人和での活動

会議後の取り組み③早期からの市民への啓発 シルバーカレッジ・市民のための終活講座開催

令和5年度 シルバーカレッジ 全4回 開催

延べ参加者数 **263**人

令和5年度 市民のための終活講座 開催

内容 ・人生会議セミナー「生きる」ということを考える
・終活に関する法律のおはなし

定員60名
※第1回のみ
200名です。

自分の未来を創造しよう！

知立市シルバーカレッジ

人生のこれからの歩き方を学ぶ全4回の講座です。

第1回 特別記念講演
「人生100年時代の歩き方」

[日時] 1月13日(土) AM10:00～正午
[会場] 知立市中央公民館講堂 (知立市広見3丁目1番地)
[定員] 200名

●講師 若宮 正子氏
プロフィール: 1935年生まれ。定年迄三菱UFJ銀行に勤める。58歳から独学でパソコンを学び、2017年ゲームアプリ「hinodan」を公開。米国アップル社CEOよりWWDCに特別招待される。
・一般社団法人メロウ倶楽部 理事
・熱中小学校教諭(一般社団法人熱中学園)
・岸田首相主催「デジタル田園都市国家構想実現会議」構成員
・ExcelArtist

第2回 「みんなでやるからおもしろい!地域に関わる楽しさ」

高齢者が安心して暮らせる地域はどんなイメージですか?こんな地域だったらいいなを実現するために、自分自身が何か出来るかを考えます。

[日時] 1月20日(土) AM10:00～正午
[会場] 知立市中央公民館講堂

●講師 坂本 直敏氏
プロフィール: WAGAMACHI代表。元自治体職員。SDGsの地方創生公理アドバイザー。愛知県を中心に自治体のまちづくりのサポートや、ふるさと納税に関わる事業にて活躍中。

第3回 「終活を考える～自分のその後への備え～」

高齢になってから人生のどのような場面でお金が必要か、人生の「備え」について学びます。

●講師 明治安田生命保険相互会社
[日時] 2月3日(土) AM10:00～正午
[会場] 地域福祉センター(福祉の里ハツ田)

第4回 「認知症対策～親や自分自身が元気づちを知っておきたい話～」

認知症になると財産(預金や不動産)が凍結されるリスクがあります。対策としての成年後見制度や家族信託等について学びます。

●講師 行政書士法人あいち行政&相続 行政書士
[日時] 2月10日(土) AM10:00～正午
[会場] 地域福祉センター(福祉の里ハツ田)

受付開始 12月1日(金) 午前9時～ 対象 市内在住・在学・在勤の方
申込・問合せ 知立市ボランティア・市民活動センター(福祉の里ハツ田内)
TEL 0566-82-3339 mail v-center@chiryu-shakyo.or.jp

参加者数 **80**人



会議後の取り組み④総合事業利用者へのフォロー体制の拡充 通所型サービスC卒業後の生活支援コーディネーターとの連携促進

総合事業(通所型サービスC)卒業後、通いの場等の地域資源につなげる。寄り添う支援。

内容:通所型サービスC利用開始時から生活支援コーディネーターとの連携を行い、地域でのフォロー体制を整える。

令和6年1月19日

通所型サービスC従事者と生活支援コーディネーターとの意見交換会開催

以降、通所型サービスC利用者に生活支援コーディネーターが関わり支援を行っている。



令和5年度 多職種連携会議報告



令和5年度 多職種連携会議報告

要支援者等の生活課題の解決など、状態の改善に導き自立を促すため、また生活の質の向上を目指すために、個別の事例について多職種でアセスメントを行い、どのような支援をしていくかを考える。

◇主 催 : 地域包括支援センター

◇開 催 : 月2回

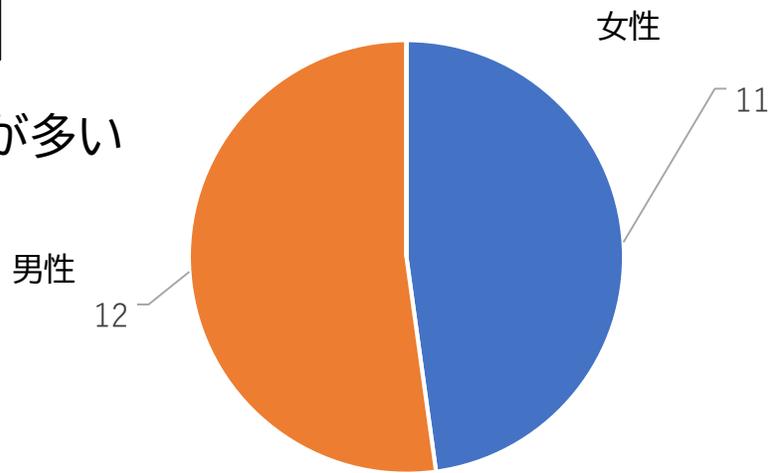
◇主参加者 : 行政、包括支援センター職員、担当ケアマネジャー、サービス提供事業者、理学療法士等

	実施回数	検討事例数	延べ参加者数
多職種連携会議	24回	32件(うち9件はスキーム検討)	354人

多職種連携会議における対象事例の状況(性別・年齢・世帯構成・居住環境)

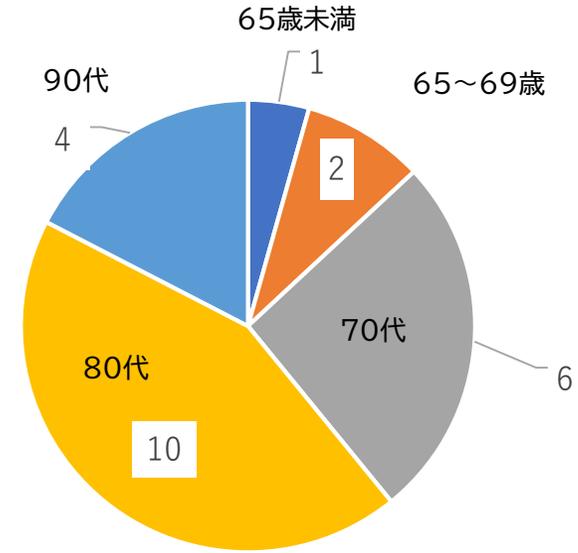
性別

男性が多い



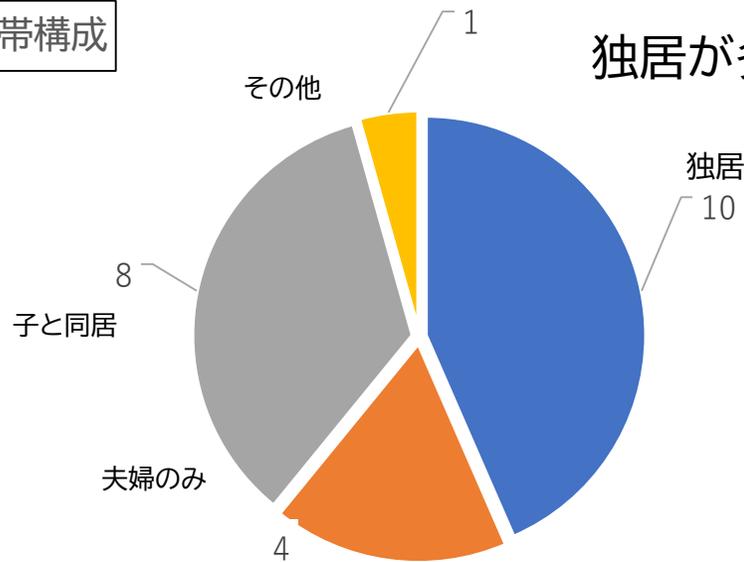
年齢

2人に1人が80歳代以上



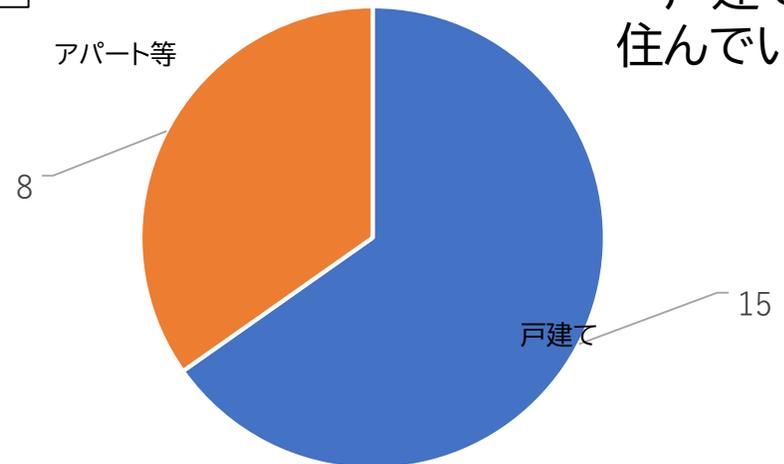
世帯構成

独居が多い



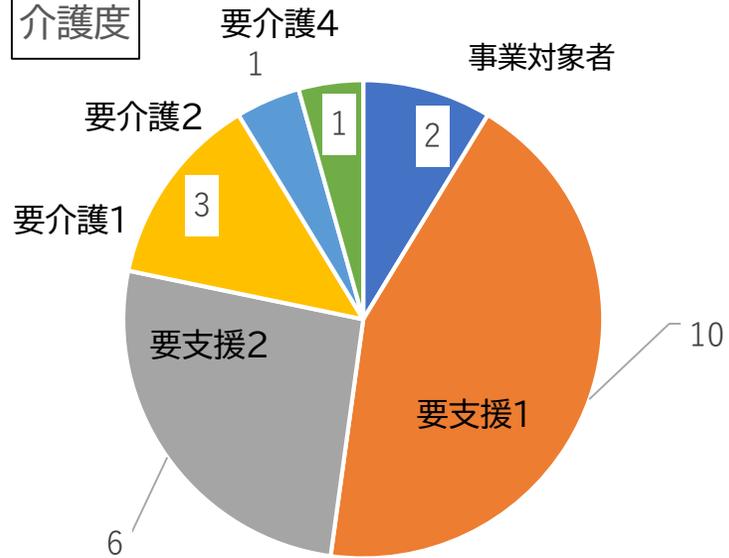
居住環境

約7割が一戸建てに住んでいる

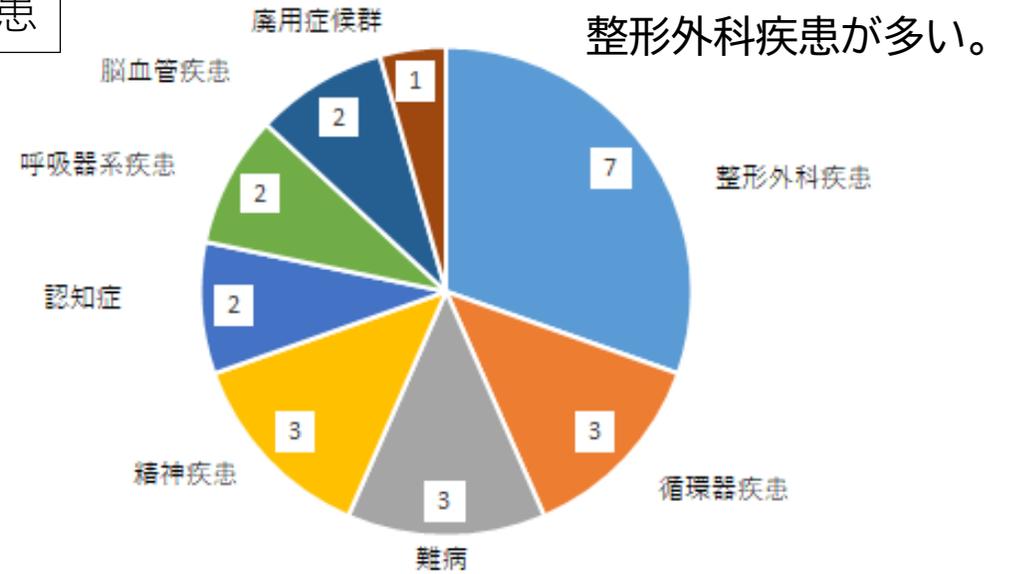


多職種連携会議における対象事例の状況(介護度・主な疾患・認知症日常生活自立度)

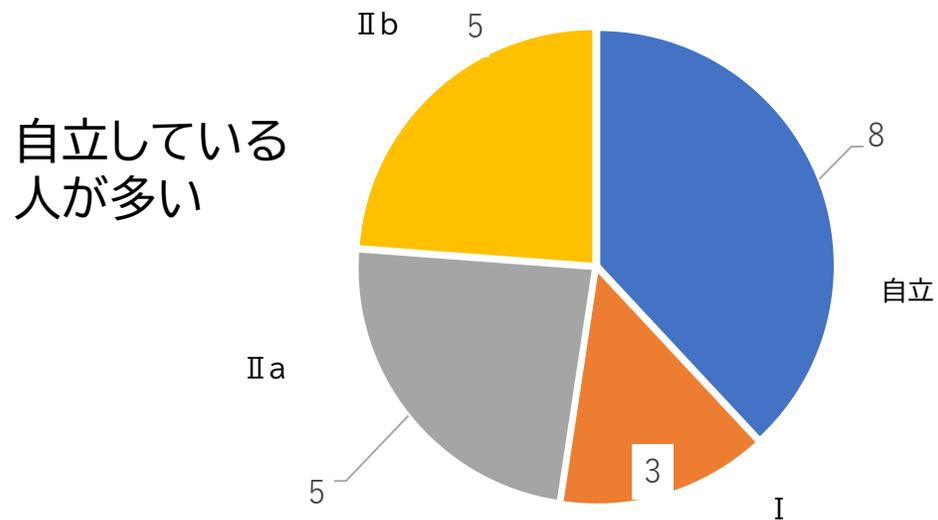
介護度



主な疾患



認知症日常生活自立度



家が一番いい。だけど一人暮らしがいつまで続けられるか少し心配



多職種連携会議の事例から課題を検討する

骨折後に痛みあり、思うように動けないことに不安がある方
転居後に人との交流がなくなってしまった方への支援

地域包括支援センター介入時の状況

- ・令和3年に知立市へ引っ越したと同時期に骨折をした。痛みにより、身の回りのことが困難になり包括へ相談される。思うように動けない不安もある。
- ・転入後、慣れない土地で人との交流がない中過ごされている。

本人の望む暮らし

- ・痛みが減り、安定した歩行ができ、身の回りの事や外出が不安なくできるようにしたい。
- ・家でじっとしているより外に出ることが好き。兄弟との旅行等、楽しみを継続できるようにしていきたい。

介入結果

- ・介入当初より通所リハビリ導入。
通所リハ利用中から地域のサロン、まちかど運動教室を紹介して包括職員が同行し利用の支援を行った。
- ・状態改善したため今後通所リハビリを卒業し、デイサービスに移行予定。
- ・現在も地域のサロンに通い、楽しみながら近所の人と交流ができている。



多職種連携会議の事例から課題を検討する

【事例より見えてきた地域課題】

課題	現状
転倒・骨折予防	<ul style="list-style-type: none">・例年の多職種連携会議の傾向より、主な疾患は整形外科疾患（特に骨折）が多い・転倒・骨折による痛み・不安・筋力低下をきっかけに、外出の機会の低下がみられる
地域でのつながりづくり	<ul style="list-style-type: none">・転入等をきっかけに、地域でつながっている人がいなくなる・家族（子ども等）が遠方におり、近くに話せる人がいない
介護予防・通いの場・相談窓口の情報の周知	<ul style="list-style-type: none">・介護予防の情報や通いの場の情報が、市民に十分に伝わっていない・誰もが見てわかるような相談窓口の案内や、通いの場の情報の周知不足がある

令和5年度 地域ケア個別会議報告



令和5年度 地域ケア個別会議報告

【地域ケア個別会議】

複合的な問題を抱える困難事例等について、関係機関と対応方法を検討し、関係者間で共通認識を図るとともに介護予防や認知症施策等さまざまな施策に関する積極的な意見交換の場とする。

◇主催 : 地域包括支援センター

◇開催 : 隔月1回

◇主参加者 : 行政、包括支援センター、社会福祉協議会等

	実施回数	検討事例数
地域ケア個別会議	6回	6件

令和5年度 地域ケア個別会議報告

【ケースの属性等】

性別	男	女	不明		
事例 (N=6)	3	3	0		

年齢	60代	70代	80代	90代	不明
事例 (N=6)	0	1	2	2	1

世帯構成	独居	夫婦世帯	子と同居
事例 (N=6)	3	2	1

令和5年度地域ケア個別会議報告

【ケースの属性等】

主たる疾患	認知症	精神疾患	視覚障害
事例 (N=6)	5	0	1

本人の介護度	認定なし	要支援	要介護
事例 (N=6)	2	1	3

主な課題	症状悪化	認知能力の低下	支援拒否、支援者不在
事例 (N=6)	1	2	3

地域課題について



地域課題について

◇地域で把握している支援が必要な高齢者の実情と課題をふまえ、それぞれの立場からご助言をいただきたい。

◇めざす姿に向けて

- ・地域課題への解決策、方向性について
- ・需要に見合った資源開発の検討

など

地域課題について(多職種連携会議)

課題	現状
転倒・骨折予防	<ul style="list-style-type: none">・例年の多職種連携会議の傾向より、主な疾患は整形外科疾患(特に骨折)が多い・転倒・骨折による痛み・不安・筋力低下をきっかけに、外出の機会の低下がみられる

目指す姿

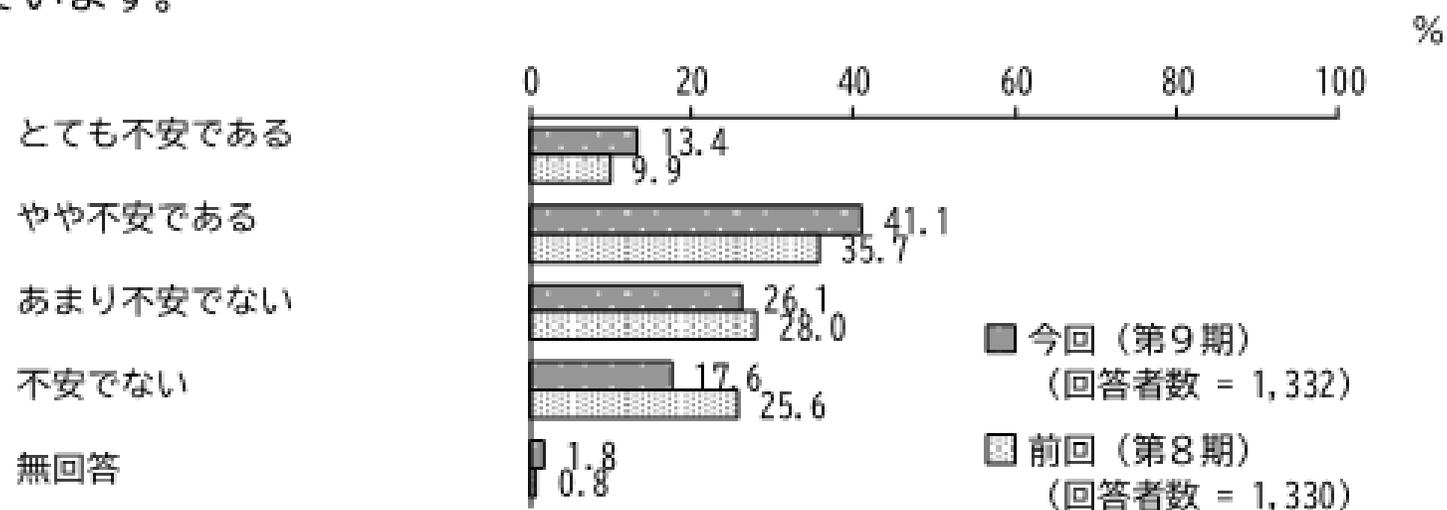
- ・高齢者自身が転倒・骨折しにくい身体づくり・生活習慣を心がけることができる
- ・転倒しにくい環境を整えることができる

第9期介護保険計画アンケート（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査より）

問8 転倒に対する不安は大きいですか。（回答は1つ）

「やや不安である」の割合が41.1%と最も高く、次いで「あまり不安でない」の割合が26.1%、「不安でない」の割合が17.6%となっています。

前回と比較すると、「やや不安である」の割合が増加しています。一方、「不安でない」の割合が減少しています。



第9期介護保険計画アンケート（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査より）

問55 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。（いくつでも）

【介護状況別】

介護状況別にみると、一般高齢者に比べ、要支援・事業対象者で「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」「心臓病」「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」「外傷（転倒・骨折等）」の割合が高くなっています。反対に、一般高齢者では、要支援・事業対象者に比べ「高脂血症（脂質異常）」「呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）」「胃腸・肝臓・胆のうの病気」「腎臓・前立腺の病気」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	ない	高血圧	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	糖尿病	高脂血症（脂質異常）	呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）
全体	1744	11.0	47.0	6.2	12.4	18.2	18.9	5.8	8.0	8.6	13.2
一般高齢者	1332	13.7	45.0	4.0	10.3	17.5	21.1	4.9	6.5	7.2	9.5
要支援・事業対象者	411	2.4	53.8	13.4	19.2	20.7	11.7	9.0	12.9	13.1	25.3

区分	外傷（転倒・骨折等）	がん（悪性新生物）	血液・免疫の病気	うつ病	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全体	4.6	5.3	1.8	1.4	1.7	1.1	26.2	9.2	4.9	4.4
一般高齢者	2.0	4.4	1.4	1.0	0.9	0.3	24.2	8.0	4.7	4.6
要支援・事業対象者	13.1	8.3	2.9	2.7	4.1	3.6	32.8	13.1	5.4	3.9

地域課題について(多職種連携会議)

知立市にて転倒・骨折予防に取り組むにあたり、どのような対象に、どのような内容を行うことが効果的であるとお考えになりますか。それぞれのお立場から、把握している高齢者の実情を踏まえご助言ください。

対象	内容	方法	伝える人	周知方法
例) 65歳以上一般市民	転倒予防に効果的な運動の紹介	まちかど運動教室にて地区の公民館等で実施	市(委託先)	町内回覧版 広報掲載 ホームページ掲載
例) 介護している家族				

地域課題について(多職種連携会議)

課題	現状
地域でのつながりづくり	<ul style="list-style-type: none">・転入等をきっかけに、地域でつながっている人がいなくなる・家族(子ども等)が遠方におり、近くに話せる人がいない
介護予防・通いの場・相談窓口の情報の周知	<ul style="list-style-type: none">・介護予防の情報や通いの場の情報が、市民に十分に伝わっていない・誰もが見てわかるような相談窓口の案内や、通いの場の情報の周知不足がある

目指す姿

- ・地域の人との顔の見える関係づくりができる
- ・高齢者が介護予防・通いの場・相談窓口等の、必要とする情報を容易に得ることができる
- ・地域でのネットワークにより、早期のうちに相談・支援につながることもできる

地域課題について(多職種連携会議)

知立市にて地域でのつながりづくり・情報の周知に取り組むにあたり、どのような対象に、どのような方法で行うことが効果的であるとお考えになりますか。それぞれのお立場から、把握している高齢者の実情を踏まえご助言ください。

対象	内容	方法	関わる人
例) 転入者	市内の通いの場・相談窓口等の地域資源をまとめたものを案内する	市窓口にて配布	市